

キャラクター名	プレイヤー名
月夜見(ツヨミ)	

シンドローム	キュマイラ ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	中学生
オプション		年齢	13	性別	男
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	49%
出自	名家の生まれ	経験	平凡への反発	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	40
肉体	4	1	0	4		9	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	1	0	0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：二輪	2		芸術：殺陣	2		知識：レネゲイド	2		情報：FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツツカ	白兵	12r-3	8	16		【行動値】-5 他の武器装備不可 侵蝕+2でダメージを+【肉体】
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：		0		合計回避：		0	
ツツカの囁き									
ウェポンケース									

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:装着者	P	N		
楯岡 菖蒲	P 幸福感	N 敵愾心		
アリサ・ツツカ	P 執着	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P:	1
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値-Lv							
原初の赤:フレイムタン	1	3	メジャー	視界	-	白兵	-	
効果：	射程変更 攻撃力-[5-Lv]							
螺旋の悪魔	5	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：	攻撃力+[Lv×3] 暴走付与							
フルパワーアタック	3	4	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果：	白兵攻撃力+[Lv×5] 【行動値】0							
原初の白:時間凍結	1	7	イニシアチブ	至近	自身	自動	80↑	
効果：	メインプロセスを行う HP20消費							
原初の黒:ライトスピード	1	7	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果：	メジャーアクションを2回行う C値+1							
原初の虚:氷熱の軍団	5	12	イニシアチブ	視界	シーン(選択)	自動	120↑	
効果：	R間攻撃力+[Lv×4]							
原初の灰:闘争の渦	1	7	オート	視界	単体	自動	120↑	
効果：	エフェクトの使用回数1つ回復 暴走付与							
眠れる遺伝子	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果：	動物の姿を取れるようになる							
まだらの紐	★	1	メジャー	視界	効果参照	効果参照	-	
効果：	知覚能力を持つ影を忍ばせる							
効果：								
効果：								
効果：								

【欲望:消滅】
「はいお別れ。君の名前と、魂に」

幼いながらにして、身の丈以上もある巨大な剣ツツカと共にFHの中で生きることを選んだチルドレン。全長2m以上もあるその剣を軽々と振り回しては、何の躊躇いもなくその命と、“名”を奪い去っていく。やっていることはただの殺人者のだが、彼に取っては「このような裏切りの世界で死ねば誰からも悲しまれないまま存在を忘れられるだろう」という理屈に沿って名を奪っているのだという。

陽気であると同時に非常に荒っぽい性格で、普段から口が軽くて悪い。日常において通っている中学では不良学生として知られている。

本名はツクヨミ・ツツカ。ツツカ一族の継承者である。なのだが彼の母は双子を産んでおり、もう1人の継承者と共に生まれ落ちた。それこそがアリサ・ツツカであり、彼が今も憎しみ続ける者の名前。一族の継承者は1人でなくてはならない為、父は物心がつくまでの間2人を生かし続けた。そして5歳の誕生日…ツツカの継承者として選ばれたのは、アリサであった。その瞬間、授けられたツツカに触れたアリサは迷うことなく父を殺害。そして選ばれなかったツクヨミもまた、手にかかけられようとするが……決死の思いでその場から逃げ出し、一時は事なきを得る。しかし以降、2人以上一族の継承者が存在することが許されない都合ツツカの姓を名乗ることは出来なくなり、名前しか持たないままアリサから隠れて生きていくことを余儀なくされる。それ以来アリサに対して憎悪に近い感情を抱き続けており、彼女をこの世から消し去り姓を取り戻すことが彼の最大の欲望となった。

なお、彼が獲物として使っているツツカはアリサの用いるツツカの形と強度を真似ただけのもの。